

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名	街路市活性化推進事業				
所管部局	商工観光部	部局長名	中澤 慎二	予算事業名	街路市活性化推進事業費
所管部署	産業政策課	所属長名	大石 和成	予算事業科目(平成25年度)	010701040181

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	04	地産の環	施策取組方針	地域の特性を活かした商業振興を図るために、高知県の経済や交流の中心であり、歴史、文化、食の資源が集中する東西軸エリア（はりまや橋周辺から高知城に至るエリア）に位置する中心商店街においては、県域の中心商業地としての商店街機能の強化とともに、魅力と求心力を高める集客交流施設の立地、観光との連携などに取り組みます。 また、近隣の商業地においては、地域の核としての商店街機能の向上を図り、地域住民の利便性の向上に努めます。	
政策	22	魅力あふれる商業の振興			
施策	66	地域特性を活かした商業集積の形成			
2 事業の根拠・性格			法定受託事務		
法律・政令・省令					
県条例・規則・要綱等					
市条例・規則・要綱等	高知市道路占用規則, 高知市街路市占用許可要領				
その他(計画, 覚書等)					

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	街路市出店者・街路市及び中心市街地への来訪者			
意図	どのような状態にしていけるのか	出店者の維持・拡大などにより、高知市民の生活市であり、かつ貴重な観光資源としての街路市の活性化推進を図る。			
手段	事業実施体制等	幅広い手段でのPR活動、高知市シルバー人材センター・大学生等との連携による活性化事業の展開	事業開始年度	平成16年度	
			事業終了年度	-	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	街路市出店者の確保に向け、出店募集チラシの県内JAへの配布等による新規出店者開拓 ガイドブック・パンフレット等の活用による街路市の情報発信とPR 大学生ボランティアによる休憩所兼観光案内所と出店者のサポート事業 日曜市協力店事業。県外への観光宣伝隊参加 大学生主催の街路市活性化シンポジウムへの協力 高知市シルバー人材センターへの委託事業(街路市活性化基本情報収集業務)			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	出店者数の維持・増加	日曜市等の大きな魅力である「規模」は活力を示す大きな指標である。		
	B				
	C				

4 事業の実績等

		22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A 出店者数の維持・増加	目標	456	442	428	全街路市出店者のうち大半を占める日曜市の出店者数(定時+臨時)の前年度実績を目標値としている。	
		実績	442	428	430		
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	1,384	2,442	2,877	2,880	
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)	1,384	2,442	2,877	1,822
	一般財源 (千円)	0	0	0	1,058		
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	8,640	8,640	8,880	8,880	
		正規職員 (千円)	8,640	8,640	8,880	8,880	
		その他 (千円)					
人役数 (人)		1.20	1.20	1.20	1.20		
正規職員 (人)		1.20	1.20	1.20	1.20		
その他 (人)							
総コスト= ① + ② (千円)		10,024	11,082	11,757	11,760		
市民1人当たりコスト (円)		30	33	35			
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397			
						総コスト/年度末人口	

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- ・県内有数の一大観光地である。同等代替物の創造は不可能。
- ・300年超の歴史を持つ市民の心のふるさと。高知のシンボル。
- ・学生ボランティアとの協働による若年者の活躍の場の提供、出店者へのサポート提供等。
- ・流通機能（市民への新鮮で質の良い商品の提供）、社会的機能（高齢者・女性の働く場の創造）、及び観光機能（観光客等への“本物の”観光素材提供）。
- ・中心市街地との回遊性創出等による地域経済への貢献。
- ・出店者組合のお買い物チケット作成・配布への協力や販売体験の場の提供などによる、生徒・児童らへの教育的効果。

6 所属長評価

評価項目		評価基準		1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	B (3) 一部結びつく	A	5.0	<ul style="list-style-type: none"> ・経済・交流の中心地である地域特性を活かしながら、商業・観光面でも欠かせない存在となっている。 ・日曜市をはじめとする街路市の存在が、地元からも観光客からも求められている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B (3) 横ばいである			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B (3) 概ね達成している	B	4.0	
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	C (1) あまり順調ではない	D (0) 十分な成果を望めない			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B (3) 行政主体が望ましい	B	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の積極的関与により、街路市の安定的な運営が可能となっている。 ・大学生のボランティアによる日曜市活性化への取り組みを支援。 ・高知市シルバー人材センターへの業務委託により、街路市活性化基本情報収集や安全対策にかかる事業を実施。 ・他団体との連携により、事業効果を高めながら相対的に経費の節減に努めている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	C (1) 検討の余地はある	D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B (3) 概ね保たれている	B	3.0	
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	C (1) 偏っている	D (0) 公平性を欠いている			
総合点	16.0	総合評価 <input type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)				

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の積極的関与により今日の街路市の発展がもたらされている（他都市に例のない”市専属の部署”の行政的・文化的価値は高い） ・出店者組合、学生、シルバー人材センター等との連携の中で事業の効率性も追求されており、総じて費用対効果も大きい。 ・引き続き、行政も深く関与しながら、街路市の継続・発展をめざしてゆく。
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--